



千里中央病院における骨粗鬆症治療



整形外科部長
藤田 良

「骨粗鬆症って、年をとればみんななるものだから、気にしなくてもいいじゃない？」と思ってはいませんか？

骨粗鬆症になっても、骨折をおこすまでは痛くも何ともありません。でも、いったん骨折を起こすと、要介護状態になってしまうことが多いのです。

特に大腿骨近位部骨折を起こすと、半数の患者さんで歩行能力が元に戻らず、1年後1割の患者さんがなくなってしまうといわれています。

女性では転倒、骨折は要介護状態になる原因として認知症に次ぐ第2位なのです。

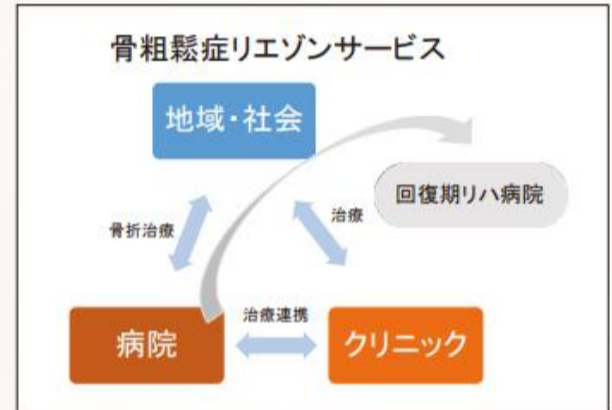
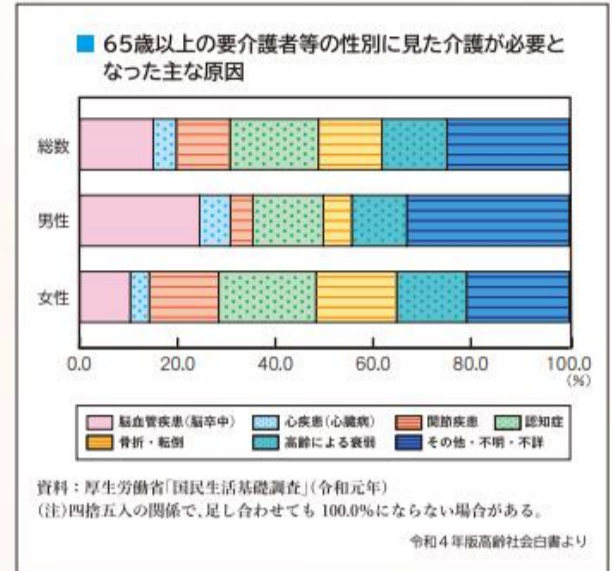
認知症は予防が難しい疾患ですが、骨粗鬆症には幸いにも確立された治療法があります。

骨粗鬆症治療でもっとも効果的なのは、まず骨形成促進薬を使用し、その後骨吸収抑制薬に切り替えていくという逐次療法です。

当院回復期病棟では、近隣の急性期病院から多数の脊椎圧迫骨折患者を受け入れています。我々は入院中に積極的に骨形成促進薬であるテリパラチド製剤を開始し、可能な限り退院後も継続していただけるようかかりつけの病院にお願いしています。

大腿骨近位部骨折の患者さんの8割で過去に脊椎圧迫骨折を起こしたことがあることが知られています。脊椎圧迫骨折の段階で逐次療法を開始することにより、後に続く予想される大腿骨近位部骨折の予防にもつながります。

当院に入院されたことが患者さんの健康寿命を伸ばすきっかけになれるように、今後もこの取り組みを継続していきます。



こころとからだのつらさを やわらげる緩和ケア

——がん性疼痛看護認定看護師の
体験を通してお伝えできること

がん性疼痛看護認定看護師
檜垣 明日香



私は、自分の身内ががんになった体験と沢山のがん患者さんとそのご家族と出会いながら、緩和ケアに10年以上携わって参りました。

緩和ケアとは、重い病を抱える患者さんやそのご家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことをいいます。

身体的なつらさだけでなく、こころのつらさや経済的な問題などは生活に大きく影響します。つらさと共存して過ごされる患者さんご家族の傍らで思うことは、身体的なつらさがやわらぐと、ご自身と向き合う余裕ができ、人生の課題を前向きに考えていくことができるように感じています。つらさが和らぎ、その人らしく過ごせることを知っているため、その場面をまた共にしたいと願いながら、がん患者さんご家族のサポートを続けているんだと思います。

緩和ケア病棟では、アロママッサージのリラクゼーションがあり、その匂いにスタッフも癒されています。コロナ禍で見学はできませんが、緩和ケア病棟の患者さん、スタッフは割と明るく過ごしています。患者さん・ご家族の思いや希望を大切にしながら、穏やかな時間が持てるよう、多職種と連携しサポートしていきたいと思っています。

また、がん患者さんは、緩和ケア病棟だけでなく、一般障害者病棟、外来のがん患者さんのこころのつらさの軽減を目的としたがん患者相談が可能です。担当者は、がん関連の認定看護師、公認心理士です。お気軽にご相談ください。



■ 病院概要

- 診療科/内科、神経内科、外科、整形外科、
脳神経外科、リハビリテーション科
- 病床数/400床
- ・一般障害者病棟：275床
 - ・回復期リハビリテーション病棟：100床
 - ・緩和ケア病棟：25床

看護部



正面玄関の飾りつけ

～四季折々をイメージして～

今回は千里中央病院、正面玄関（ヤマダ電機側）の飾りつけの紹介です。

現在、正面玄関は閉鎖中ですが、季節に合わせて飾りつけをしています。担当は看護補助職メンバーです。病院の前を通られる地域の皆さんへ、癒しの空間を感じてもらえたらと思っています。担当者は、毎回どんな飾りつけがいいかなと悩みながらも、楽しみながら作成しています。正面玄関前を通る際、よろしかったら鑑賞してください。



リハビリテーション部

当院でのリハビリテーションとは

当院には、理学療法士 45 名、作業療法士 27 名、言語治療士 10 名の 82 名のスタッフが在籍しています。主に入院患者のリハビリテーション（以下、リハビリ）を担当しており、回復期リハビリ病棟・一般障害者病棟・緩和ケア病棟で患者の個性に合わせたリハビリを提供しています。

リハビリの対象になる患者は、脳出血などの脳血管障害の方、股関節の骨折や手術後の運動器疾患の方、肺炎などで体力が低下した廃用症候群の方になります。また、パーキンソン病などの神経難病と呼ばれる病名の方も多くリハビリに取り組まれています。

リハビリの目的は、再び歩く、片手で家事動作が出来る、もう一度口から食事を食べるなど、患者ごと様々ですが、住宅や家族構成も考慮して、個別的な関わりを行っています。

当院では、病気を予防するという事だけでなく、再び、その人らしい生活を取り戻していく為に医師や看護師を含めたりハビリチームが協力して支援しています。



作業療法科



言語療法科



理学療法科

● 病院理念 ●

『最高のホスピタリティーを目指して』

私達は常に心と技術の両面から「最高のホスピタリティー」を目指し、継続的に院内環境を改善するよう努力してまいります。

— 基本方針 —

- 1) 地域社会との連携
- 2) チーム医療の推進
- 3) 豊かな人間性を持った医療人の育成

編集後記

今年のさくらの開花は東日本と西日本の多くの地点で平年より早まる予想で、記録的な早さとなる所もありそうです。3月の終わりくらいからは各地の桜の名所では例年以上に人手が多くなりそうです。

(放射線科 山田)